

# 長岡版広域道路ビジョン

## － 軸の強化に向けた目標 －

### 目 次

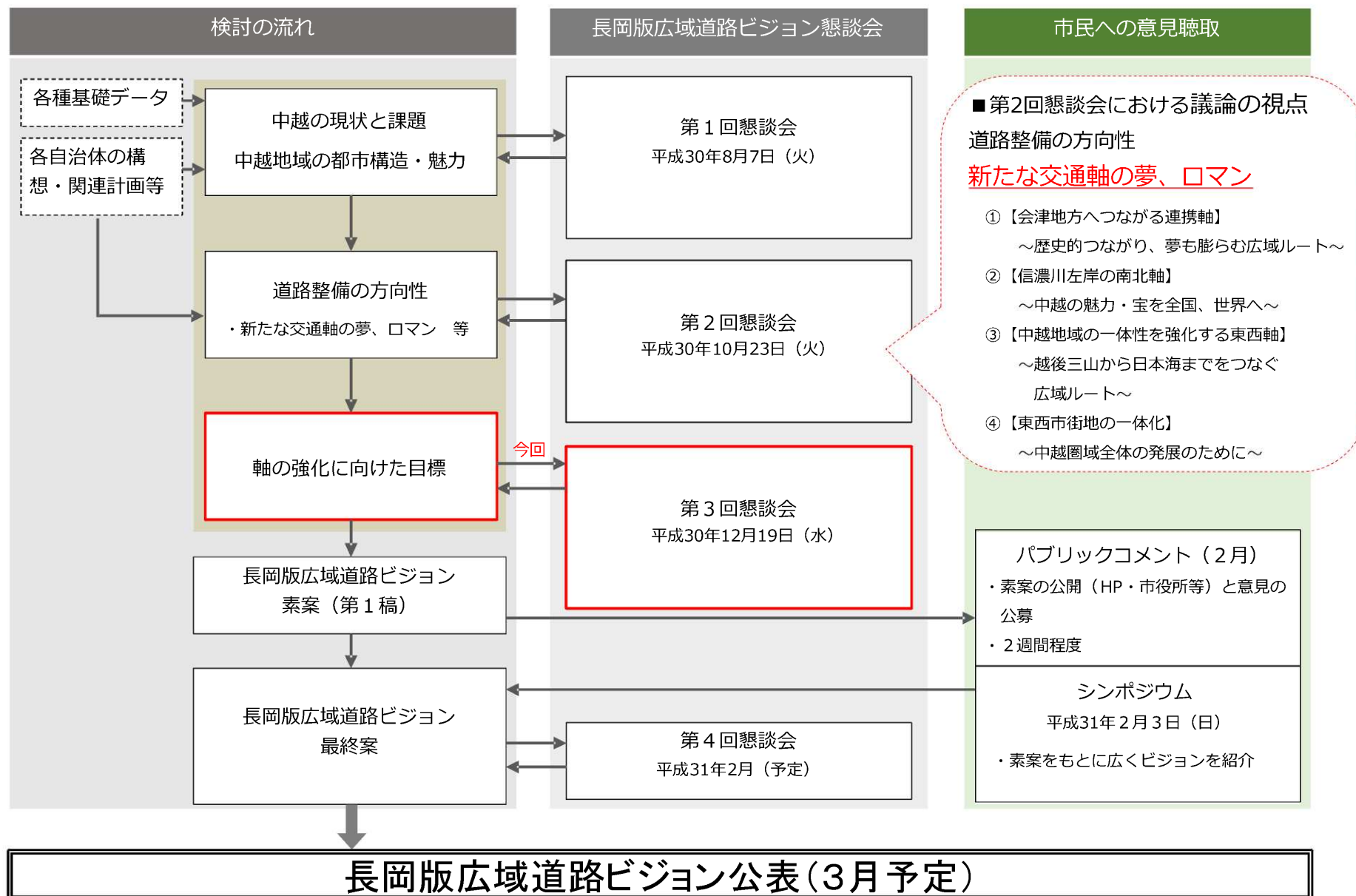
1. 長岡版広域道路ビジョン 策定までの流れ .....	1
2. 第2回懇談会までの振り返り .....	2
3. 軸の強化に向けた目標 .....	8

長岡開府400年

ROOTS  
400 越後長岡

# 1 長岡版広域道路ビジョン 策定までの流れ

長岡版広域道路ビジョン懇談会で皆さまから議論いただきながら検討を進め、パブリックコメント（意見公募）による市民の意見を踏まえた最終案を作成し、第4回の懇談会でビジョン案が承認されたのち、「長岡版広域道路ビジョン」策定となる。



## ①広域連携による、地域の産業や資源などの一層の活用

### A. 観光周遊のネットワークづくり

- 会津、日光、那須につながる道路
- 日光や海につながる口マンを感じられる道路
- 観光客が動きやすい道路ネットワーク
- 大地の芸術祭の作品を巡る道路ネットワーク
- 雪に不慣れな観光客が安心して運転できる道路
- 自然資源と文化的遺産を観光面でうまく結びつけるネットワークが必要
- 観光を意識すると「きれいな道」であることが必要
- 現在会津で好評な五街道を含めて観光街道として盛り上げたら良い

### E. 多様な世代が活躍する地域

- 若者が口マンを感じるような仕掛け
- 「地元の良さ」を小さいころから知る教育
- 「働く場」があることのPR
- 冬期の季節雇用の人と農業の連携で何かできないか
- 高齢者も元気な人が多い

### B. 中越地域が連携した観光施策

- 広域観光ルートの形成
- 長岡、小千谷、柏崎、十日町、魚沼が連携した観光施策の展開
- 中国圏、東南アジアをターゲットとした中部・北陸の「昇龍道」が参考になる
- 地元としては観光客が増えるという意見も若干聞くが、地域も利用しながら観光資源を育てていけると良い
- 小千谷の観光名物「片貝まつり」では毎年交通渋滞。長岡駅や浦佐駅へのアクセス強化が必要
- 新潟県の神社数は全国1位だが、県の魅力度は31位と評価が低い。もっと交通網をうまく使って発展していくことが大切
- MICE(国際的なシンポジウムなど)の誘致を長岡でもやってはどうか
- 国道290号も東西軸に関連して強調されても良いのではないか

### C. 外国人観光客受け入れの充実

- インバウンドは、思ってもみないところで人気が出る
- 食べ物に制限のあるムスリムに着目
- 農業を活かしたアグリツーリズム(農家体験、棚田、錦鯉)
- 雪に不慣れな外国人も安心して運転できる道路

### F. 歴史的な地域のつながりの再認識

- 長岡藩主や河合継之助が使った八十里越えルートで会津と魅力的につながる
- とちお謙信公祭の鉄砲隊が会津に教えを乞うたというつながりがある
- 会津と中越との連携は、観光、教育などの方面でメリットがある
- 国道289号、252号、352号の整備促進には、会津側、新潟側が共同で要望できるとよい

### D. 産業・物流を活性化する道路ネットワークづくり

- 郊外の循環型農業と都心とを結ぶ道路ネットワーク
- 広域的な道路の空白地におけるネットワークづくり
- 大雪でも通行止めにならず、安全・安心、快適に通行できる道路
- 米粉などのアレルギー対応食品を、関東方面などへ供給する拠点となる

### G. 中越地域の魅力の発信

- 米百俵の文化
- 地元も気づかない「地域の魅力」がある
- SNSによる発信やファンクラブ立上げなど地域の魅力のPR方法や活用方法の工夫
- 中越地域に来なければ食べられない(経験できない)ことの打ち出し
- 東京、新潟などの人脈と連携し、フレッシュな情報を交換することが重要
- 会津も含み中越全体の豊かな自然景観やトキなどの絶滅危惧種、国定公園などを全面に出すとよい

## ②港湾や空港、新幹線とのつながりによる、物流・人流の広域化

### A. 広域な観光ルート

- 会津、日光、那須などにつながる道路があると夢が広がる
- 広域観光ルートのようなビジョンが必要
- 長岡を中心に、柏崎、小千谷、魚沼、十日町までネットワークを広げ、連携した観光施策が重要
- 八十里越えの道中は景色がとても良く、これらの良い景色を若者にSNSで拡散することで訪れる若者が増える
- 寺泊や佐渡へ行く際、長岡から国道116号方面へ抜けやすい道路が必要
- 観光用道路として（国道17号）の整備（特に小千谷、川口、魚沼）が必要
- 冬期間渋滞がしばしば起きる。観光客はこれを避けるため湯沢より先となる長岡方面にはなかなか来ない
- 既存の道路整備は限界があるため、新たに只見町までの間をトンネルで接続し、安全かつ、他では類を見ないようなトンネルを開通させれば地域経済・観光産業等に大きく影響すると考える（自動車と電車（トローリーバスも良い）並行して走らせるのも良い）

### D. インバウンドを見据えたネットワークづくり

- 中部・北陸の周遊ルート「昇龍道」のように、広域的な周遊ルートで、さらにターゲットに喜ばれるネーミングも重要

### B. 来訪者のスムーズな移動ルート

- 地域住民をはじめ観光客にも動きやすい道路ネットワークが必要
- いろんな体験をしにきた観光客がフットワーク軽く移動できる道路ネットワークが必要

### C. 鉄道を活用した観光

- 只見線が再開し、観光面で期待できる
- 東京から新幹線で長岡に訪れた人が、東京から意外と近いと言っていた
- 鉄道の只見線は秘境の素晴らしい景観の観光路線として効果があるが、移動手段としては道路のほうが効果大きい
- 小千谷の観光名物「片貝まつり」では毎年交通渋滞。長岡駅や浦佐駅へのアクセス強化が必要

### E. 太平洋側のバックアップとしての役割を担う

- 首都圏・中京・関西圏の大規模地震を想定すると、日本海側の交通の要衝である中越地域のバックアップの役割は大きい
- 中越地域は県の中央に位置するため、放射状に道路整備がされることは地域間交流に関して意義がある

### F. 循環型農業・林業生産物等の流通

- 循環型農業を行う郊外と、都市部との、往来しやすい道路ネットワークが必要
- 美しい山里での林業や、佐渡とのつながりも大切にする



### ③安全・安心で住みやすい地域づくり

#### A. 大雪に強い道路ネットワーク

- 大雪でも通行止めにならず、安全・安心、快適に通行できる道路が必要
- 雪に不慣れな観光客、外国人でも安心して運転できる道路が必要
- 雪国の運転は怖いというイメージを払拭する雪に強い道路整備

#### B. 大規模災害時の道路ネットワーク

- 広域道路の空白地をつなぐ道路ネットワークは、災害対応の面でも必要
- 首都圏・中京・関西圏の大規模地震時のバックアップの役割を担うために、もう少し細やかな道路ネットワークも必要
- 災害時に燃料供給を考えると、迂回路の強化が必要
- 魚沼から福島へのルート（国道252号）は避難経路として確保したいため、冬期でも円滑に通行できるようにしたい

#### C. 柏崎刈羽原発の有事を想定した備え

- 雪で通行止めにならない、通年通れる避難道路が必要
- 国道8号、17号に加えて、複数の避難路が確保されることが必要
- 原発避難路や、積雪時の交通の確保等、有事の際に災害対応といった観点での道路整備は大事**
- 柏崎原発の非常時避難路の確保のため、柏崎・堀之内・小出のルート整備（特に冬期間）が必要

#### D. 広域的な救急医療の充実

- 医療の面で、会津方面とつながる道路があると良い
- 広域道路の空白地（例：磐越道と日治道間、磐越道と関越道間、十日町から長岡、小千谷から柏崎など）をつなぐ道路ネットワークは、救急医療の面でも必要
- 只見町など、高度医療の整備された中越と1時間圏内でつながること救命率が非常に上がる

#### E. 福祉関連活動の充実

- 新潟や上越と比較して、他県とのつながりが弱い中越はNPOが非常に少ない
- 福祉施設を充実させ、高齢者の暮らしやすいまちにし、そこで働く若者を増やすといった考えもある

#### F. 定住人口増加のために

- 首都圏へ、若者が流出することに歯止めをかけなければならない
- 若者がロマンを感じるような仕掛け
- 定住人口増加にはシティセールスも必要
- 「地元の良さ」に関する教育
- 「働く場」があることのPR
- 外国人定住者も増やしていけると良い
- 在宅で仕事をする環境整備

#### G. 子育て・就学環境が良い

- 来訪者から「子育て環境が良い（食べものおいしい、雪がある、海、東京に近い）」という意見がある
- 子育ての駅「てくてく」「ぐんぐん」ができて子育て環境が良くなった
- 大学が充実している
- 教育をベースに、子どもが喜ぶような材料を意図的に道につなげていくことが大事**

## ④ 信濃川東西市街地の一体化

### A. 雪に強い道路ネットワーク

- 雪に強く、安全・安心・快適に通行できる道路が必要
- 広域のみならず、もう少し細やかなネットワークも必要
- 雪に不慣れな観光客、外国人でも安心して運転できる道路が必要
- 地域住民、観光客が動きやすい道路ネットワークが必要

### B. 災害対応、救急医療に強いネットワーク

- 道路ネットワークを繋げることは、災害対応、救急医療などの面でも効果がある
- 関東などの大規模災害時、関東に近く、交通の要衝である中越地域のバックアップ機能の役割は大きい

### C. 東西市街地の一体化

- フェニックス大橋が完成して東西の交通の流れが大きく変わった
- 東西の人の往来が活発になったと感じる
- フェニックス大橋、蔵王橋の4車線化を早急に考えることが必要
- 蔵王橋と与板橋の間にもう一本橋があっても良い
- 信濃川の左岸軸と長岡東バイパスが東西の基幹道路となり、橋で結ばれて環状になることで近隣市町村との連携は非常に良くなる

### D. 橋の機能・強化

- 橋は景観上非常に重要な要素であり、観光資源として活用していけると良い。インスタ映えする橋をSNSで拡散することが地域の魅力アップにつながる
- 長生橋は歴史的なものも考えつつ長寿命化を保ち、補助的な橋としてタクシー等公共交通専用とする案などを考えていく必要がある



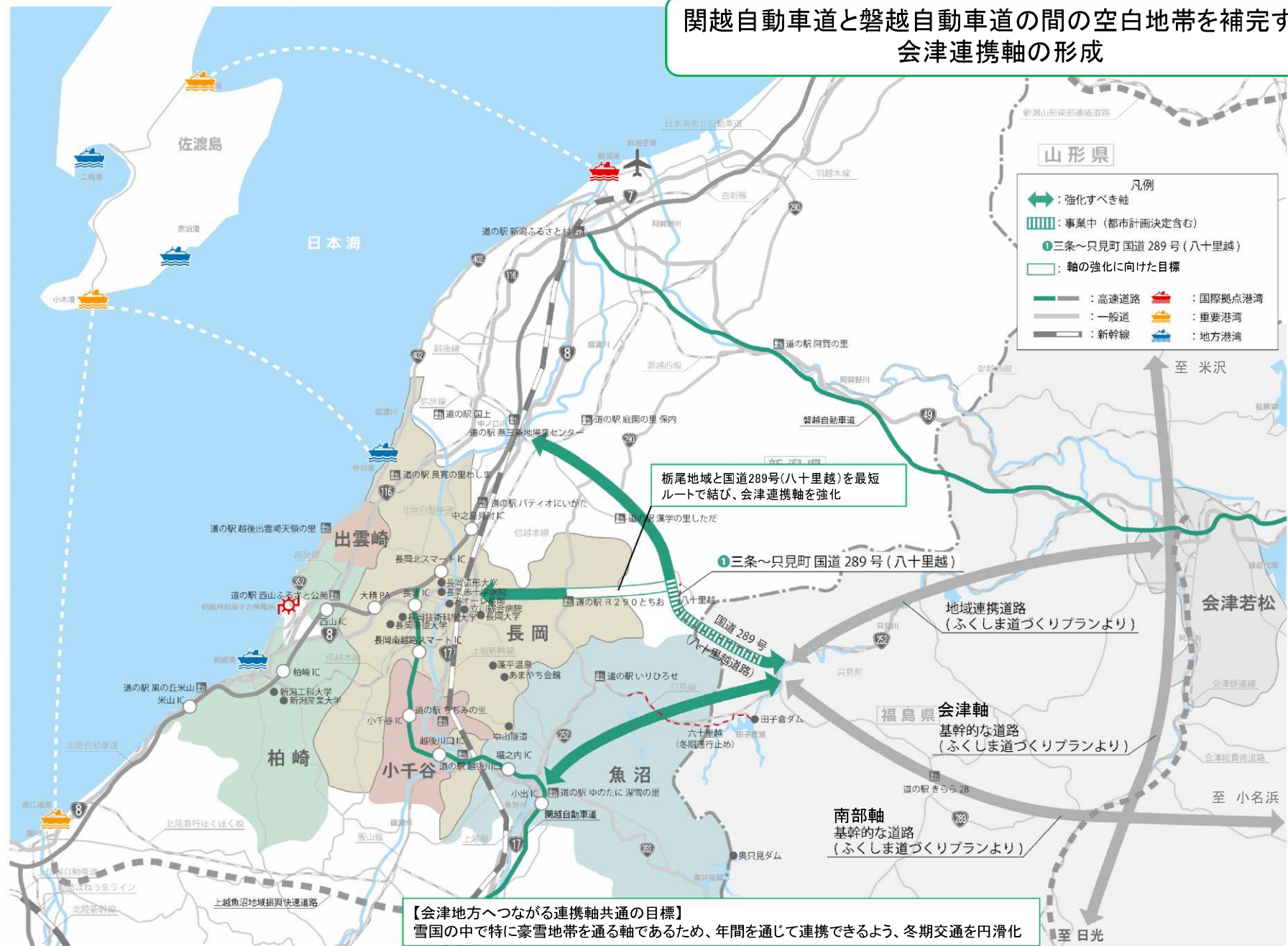






### 3 軸の強化に向けた目標

#### (1) 【会津地方へつながる連携軸】 ～歴史的つながり、夢も膨らむ広域ルート～



### 3 軸の強化に向けた目標

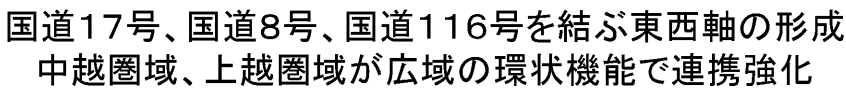
#### (2) 【信濃川左岸の南北軸】～中越の魅力・宝を全国、世界へ～





### (3) 【中越地域の一体性を強化する東西軸】

～越後三山から日本海までをつなぐ広域ルート～





### 3 軸の強化に向けた目標

#### (4) 【東西市街地の一体化】 ～中越圏域全体の発展のために～

橋梁部の強化により、東西市街地が一体化  
更に各軸が環状機能で結びつき、  
中越地域全体の発展につながる





### 3 軸の強化に向けた目標

#### (5) ソフト面での目標

##### ●長生橋の延命化

- ・1937年に完成した3代目となる現在の橋梁。昨年完成から80年を迎えた景観的にも優れた構造から、2013年に土木学会選奨土木遺産に認定
- ・長岡まつり大花火大会でナイアガラ的舞台にもなり、東西市街地を結ぶ道路機能だけでなく、市民に愛される地域の大切なシンボルとなっている
- ・長寿化工事や、トランジットモールのような公共交通を主体とした利用方法、あるいは大型車規制などを検討し、長生橋を未来に残すことが必要



上図 長生橋  
資料：土木学会 選奨土木遺産（土木学会HP）



上図 タワーブリッジ（1894年完成：ロンドン）  
2016年改修工事実施 資料：Wikipedia



右図 トランジットモールの例  
資料：国土交通省 自動車総合安全情報HP

##### ●除雪体制の維持・強化

- ・大規模滞留の抑制と通行止め時間の最小化を図るために、NEXCO・国・県・市町村が一休となった除雪体制の確立が不可欠
- ・現在開発が進められている除雪自動運転技術の導入により、除雪作業の安定化・省力化を目指す
- ・安全、安心な冬期交通を確保し、通年的な避難路の確保や、観光客の誘致につながる



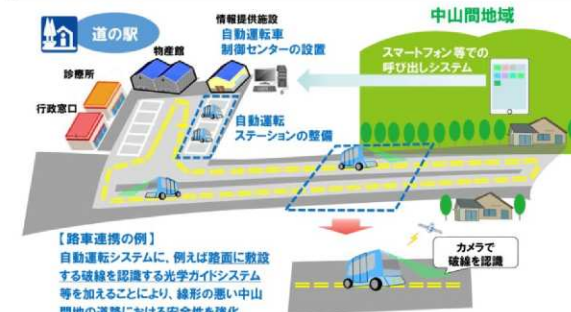
上図 大雪時の車両滞留状況（長岡市国道8号）  
資料：毎日新聞



上図 高度化された除雪車のイメージ  
資料：冬期道路交通確保に向けたこれまでの主な取り組みについて（国土交通省）

##### ●自動運転技術の活用

- ・自動運転サービスを活用し、高齢化が進行する地域の生活を支える基盤、人流・物流の確保を目指す
- ・今年度、長岡市山古志地域で「やまこし復興交流館おらたる」を拠点とした自動運転サービスの実証実験を行う  
⇒2018年11月16日に行政関係者や地域住民らが協議会を設立
- ・地域に魅力を感じ、豊かな自然の中で暮らしたいと考える人の定住にもつながる



上図 自動運転サービスのイメージ  
資料：中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス  
平成29年度実証実験計画（案）（国土交通省）



上図 やまこし地域での実験車両イメージ  
資料：中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス実証実験 HP

##### 観光客の移動



アルパカ牧場

##### 生活の足の確保



診療所や支所

##### 子供たちの移動



児童館



上図 実証実験走行ルート  
資料：第1回地域実験協議会資料（平成30年11月）

##### 地元食材を使用した給食を高齢者に宅配



食材の出荷

●冊子（A4-20ページ程度）

表紙-裏表紙

裏表紙	表紙
-----	----

1.ビジョン策定の背景・目的

- ・市長メッセージ(背景・目的)

2.ビジョンの位置付け等

- ・位置付け
- ・関連計画（長岡市総合計画等）

3.ビジョンの基本事項

- ・中越地域の都市構造
- ・交通基盤の歴史と現状
- ・道路整備の役割・重要性

4.地域の現状と課題

- ・定住・交流人口
- ・産業・観光
- ・災害（防災）

5.新たな交通軸の夢・ロマン  
（広域と中越）

- ・地域の魅力と繋がり
- ・各軸の位置付け・役割

6.軸の魅力、軸の強化に向けた目標

- ・軸の魅力
- ・軸の強化に向けた目標

7.ソフト政策

- ・長生橋の延命化
- ・除雪体制の維持、強化
- ・自動運転技術の活用

8.策定経緯等

- ・策定経緯
- ・懇談会メンバー

<p>1.ビジョン策定の背景・目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長メッセージ (背景・目的)</li> </ul>	<p>2.ビジョンの位置付け等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョンの位置付け</li> <li>・関連計画（長岡市総合計画等）</li> </ul>	<p>3.ビジョンの基本事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中越地域の都市構造</li> <li>・交通基盤の歴史と現状</li> <li>・道路整備の役割・重要性</li> </ul>	<p>4.地域の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住人口</li> <li>・交流人口</li> <li>・産業・技術</li> <li>・観光</li> <li>・災害(防災)</li> </ul>
--	---	--	--

5.新たな交通軸の夢・ロマン		6.軸の魅力、軸の強化に向けた目標	
広域図	中越地域図	会津連携軸 ・軸の魅力 ・軸の強化に向けた目標	南北軸 ・(同左)
・連携軸 ・地域の魅力と繋がり ・各軸の位置付け・役割	・連携軸 ・地域の魅力と繋がり ・各軸の位置付け・役割	会津連携軸地図	南北軸地図
		東西軸 ・(同左)	東西市街地 ・(同左)
		東西軸地図	市街地地図

<p>7.ソフト政策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長生橋の延命化</li> <li>・除雪体制の強化</li> </ul>	<p>自動運転技術の活用</p>	<p>8.策定経緯等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定経緯</li> </ul> <p>懇談会メンバー</p>
---	------------------	---